

- 問1 奈良時代、日本では中国の王朝でつくられた貨幣にならい、円形で中央に正方形の穴が開き、表面に文字が刻まれた形式の貨幣が鑄造されました。この貨幣のモデルとなり、当時の日本が政治や文化の手本とした中国の王朝を選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 明 2. 宋 3. 唐 4. 元
- 問2 8世紀の奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について述べた文として、最も適切なものはどれか。なお、この時期の文化は、遣唐使がもたらした大陸の進んだ文化や、シルクロードを経由した西アジアなどの影響を強く受けている。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 遣唐使が廃止された後に発達した、日本の風土や生活に合わせた日本独自の文化 2. 聖徳太子が厚く仏教を保護したことで興った、日本で最初の仏教文化 3. 聖武天皇の遺品を納めた正倉院に見られるような、国際色豊かな貴族文化 4. 平氏の時代に、日宋貿易によってもたらされた禅宗の影響が強い文化
- 問3 律令時代の戸籍に、53歳の男性（戸主）、52歳の女性、29歳の男性、25歳の女性、1歳の男児の計5名からなる家族が記されているとします。この家族のうち、乳児を除く男女4名に「口分田」が割り当てられている状況において、彼らが負担した「租」という税の仕組みとして正しい説明を選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 北海道の開拓に従事する屯田兵として、防衛と農業を兼務する。 2. 成人男性のみが負担し、都へ出向いて10日間働くかわりに布を納める。 3. 割り当てられた口分田の面積に応じて、収穫した稲を納める。 4. その土地の特産品である絹や糸などを、都まで運んで納める。
- 問4 古代の日本で行われた「口分田」をめぐる仕組みについて、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 室町時代に農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織をつくり、村の共有地として共同で管理・運用した。 2. 明治時代の地租改正において、地価を記した地券を交付することで土地の所有権を認め、金納の義務を課した。 3. 律令に基づき、6歳以上の男女に土地を与え、死後は国に返還させる一方で、租や労役の負担を課した。 4. 江戸時代の村において、名主・組頭・百姓代といった村役人を中心となって、年貢のとりまとめを行った土地である。
- 問5 聖武天皇が国分寺・国分尼寺の建立を進めていた時期の社会状況について、当時の土地制度や民衆の負担に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 禅宗の考え方が広く浸透したことで、質素倹約が奨励され、農民の生活負担は軽減されていた 2. 武家政権の成立により、荘園の管理をめぐって各地で武士と貴族の対立が激化していた 3. 戸籍に基づいて口分田が割り当てられていたが、成人男性には重い税や労役の負担がかかっていた 4. 十七条の憲法による道徳教育が徹底された結果、役人の不正がなくなり農民の生活は極めて安定していた
- 問6 律令制度における兵役の一つである「防人」について、その実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 外国船の来航に備えるため、江戸幕府が西国の諸大名に命じて組織させた。 2. 東北地方の蝦夷の反乱を抑えるため、志願した農民が永住を前提に派遣された。 3. 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。 4. 都の宮中の警備を目的とし、全国の農民が1年の任期で交互に派遣された。
- 問7 聖武天皇が、東大寺に大仏を造立したり、各国に国分寺や国分尼寺を建立したりした目的として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 平安京への遷都を円滑に進めるために、宗教的な権威を利用して反対勢力を抑えるため 2. 遣唐使を廃止する代わりに、国内で独自の宗教文化を完成させるため 3. 律令制度を強化するために、地方豪族が持つ私有地の権利をすべて剥奪するため 4. 仏教の力によって国家を安定させるための「戒律」を伝え、仏教の秩序を整えるため
- 問8 7世紀後半から8世紀にかけて、日本は唐の制度を参考に中央集権国家の仕組みを整えました。このとき導入された、6歳以上の男女に土地を与え、その人が死ぬと国に土地を返還させる制度の名称を、次のうちから選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 太閤検地 2. 班田収授法 3. 墾田永年私財法 4. 地租改正
- 問9 唐の僧侶である鑑真が、5度もの渡航失敗や、それによる失明という苦難を乗り越えてまで日本へ来ようとした主な目的は何ですか。当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 遣唐使と協力して、唐の進んだ政治制度である律令を日本に導入させるため 2. 地方の貧しい人々を救済し、橋や堤防を築くなどの社会事業を日本で展開するため 3. 大仏造営のための高度な建築技術や、銅を精錬する新しい技術を日本に伝えるため 4. 日本の僧侶に正式な資格を授けるための「戒律」を伝え、仏教の秩序を整えるため
- 問10 奈良時代、日本の仏教の教えを正しく広めるために、唐から5度におよぶ渡航の失敗や失明という困難を乗り越えて来日し、奈良に唐招提寺を建立した僧は誰ですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 法然 2. 鑑真 3. 最澄 4. 栄西
- 問11 聖武天皇の時代を中心に栄えた、唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな貴族文化を何といいますか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 国風文化 3. 飛鳥文化 4. 化政文化
- 問12 奈良時代には、天皇中心の国づくりを正当化するために歴史書が編纂されました。そのうち、神話や伝説、国の成り立ちなどを中心に記した書物として正しいものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 風土記 2. 万葉集 3. 古今和歌集 4. 古事記
- 問13 奈良時代において、疫病や社会不安を仏教の力によって鎮め、国家の安定を図ろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、平城京に東大寺を、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じた天皇は誰ですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 天智天皇 2. 聖武天皇 3. 桓武天皇 4. 天武天皇
- 問14 律令制度のもとで行われた兵役のうち、唐や新羅などの大陸勢力からの侵攻に備え、九州北部の沿岸警備にあたった兵士を何と呼ぶか。主に東国の農民が徴兵されたことで知られている。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 防人 2. 地頭 3. 国司 4. 守護

答え合わせ・解説

問1	答え 3 唐	奈良時代、日本は遣唐使を派遣するなどして、中国の「唐」の制度や文化を積極的に取り入れました。貨幣についても唐の「開元通宝」をモデルとして、708年に「和同開珎」がつくられました。都である平城京には、各地の産物が集まる東の市・西の市が設けられ、貨幣を用いた交易が推進されました。
問2	答え 3 聖武天皇の遺品を納めた正倉院に見られるような、国際色豊かな貴族文化	奈良時代の聖武天皇の時期を中心に栄えた文化は天平文化と呼ばれます。この文化の最大の特徴は、唐の文化や仏教の影響を強く受けた国際的な性格にあります。その象徴として、東大寺正倉院には、シルクロードを経由してペルシャ（イラン）などから伝わった国際色豊かな工芸品が数多く収められています。
問3	答え 3 割り当てられた口分田の面積に応じて、収穫した稲を納める。	律令制度下の「租」は、性別に関係なく、口分田を割り当てられた者すべてがその面積に応じて負担する税でした。提示された家族構成では、6歳以上の男女が対象となるため、1歳の乳児を除く4名がそれぞれの口分田に応じた稲を納めることとなります。選択肢にある屯田兵は明治時代の制度であり、律令制とは関係ありません。
問4	答え 3 律令に基づき、6歳以上の男女に土地を与え、死後は国に返還させる一方で、租や労役の負担を課した。	口分田は、律令国家が民衆を直接支配し、安定した税収（租）や労働力（労役）を確保するために整備された制度です。土地はあくまで国家から一時的に貸し出されたものという位置づけであったため、売買は禁止されており、本人の死後は再び国に返すという原則がありました。
問5	答え 3 戸籍に基づいて口分田が割り当てられていたが、成人男性には重い税や労役の負担がかかっていた	奈良時代には律令制度のもと、戸籍を作成して6歳以上の男女に口分田を与える班田収授法が行われていました。しかし、農民（特に正丁と呼ばれる成人男性）には、収穫の一部を納める「租」だけでなく、布や特産品を納める「庸・調」、さらには防人としての兵役や土木工事への従事といった非常に重い負担が課せられていました。こうした過酷な生活背景による社会の動揺を鎮めるために、聖武天皇は仏教による統治を強化しようと考えました。
問6	答え 3 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。	白村江の戦いでの敗北後、大陸からの侵攻に備えるために九州北部の防衛体制が強化されました。防人はその中核を担いましたが、家族と離れて遠方へ赴く苦しみや生活の困窮は激しく、その様子は『万葉集』に収録された「防人歌」からも読み取ることができます。
問7	答え 4 仏教の力によって国家を安定させ、災害や疫病から国を守ろうとするため	当時の日本は、天然痘の流行や政治的な対立による内乱などにより、社会が非常に不安定な状況にありました。聖武天皇は、仏教が国を守るという「鎮護国家」の思想を政治に取り入れ、大規模な寺院建立や大仏造立という国家的プロジェクトを通じて、人々の不安を取り除き、国家の安寧を祈願しました。
問8	答え 2 班田収授法	唐の律令制度を模範としたこの土地制度は、すべての土地と人民は国家のものであるとする「公地公民」の原則に基づいています。戸籍に基づいて6歳以上の男女に「区分田（くぶんでん）」を与え、死後に返還させることで、租（稲の収穫高の約3%）を徴収する財政基盤を確立しようとした。
問9	答え 4 日本の僧侶に正式な資格を授けるための「戒律」を伝え、仏教の秩序を整えるため	当時の日本では、税を逃れるために勝手に僧侶になる者が増えており、仏教の規律が乱れていました。国家として正式な僧侶を認めるための儀式（授戒）を行うには、正しい「戒律」を理解した指導者が必要だったため、鑑真は命懸けで来日を目指しました。社会事業を行ったのは行基、大仏造営は聖武天皇の政策、政治制度の導入は主に遣唐使や留学生の役割です。
問10	答え 2 鑑真	鑑真は唐の時代の中国で高名な僧であり、日本の僧侶に正しい規律を伝える「伝戒師」として招かれました。当時の航海は命がけであり、何度も難破や妨害に遭いながらも、12年という歳月をかけて来日を果たしました。彼は奈良の唐招提寺を拠点に、日本の仏教における制度（戒律）を整える上で極めて重要な役割を果たしました。
問11	答え 1 天平文化	聖武天皇は仏教の力で国を守ろうとする鎮護国家の思想に基づき、東大寺の建立などを行いました。この時期の文化は遣唐使がもたらした大陸の文化の影響を強く受け、貴族を中心とした華やかな特色を持っています。平安時代中期に発達した日本独自の「国風文化」や、江戸時代後期の庶民文化である「化政文化」とは時代背景が異なります。
問12	答え 4 古事記	天武天皇が編纂を命じ、712年に完成した歴史書です。帝紀（天皇の系譜）や旧辞（伝承）を整理し、神代から推古天皇までの出来事を記しています。一方、「風土記」は各地方の地理や産物、伝承をまとめたものであり、「万葉集」は同時期の和歌集、「古今和歌集」は平安時代に成立した勅撰和歌集であるため、内容が異なります。
問13	答え 2 聖武天皇	奈良時代の中頃、社会の混乱を収めるために仏教を深く信仰した聖武天皇が行った政策です。東大寺には国の平和を象徴する大仏が造立され、地方ごとに建立された国分寺・国分尼寺とともに、仏教による国家の守護を目指しました。天武天皇は律令国家の基礎を築いた人物、桓武天皇は平安京へ遷都した人物であり、時代や政策が異なります。
問14	答え 1 防人	7世紀後半の白村江の戦いでの敗北を受け、大和政権は唐や新羅の侵攻に備えて大宰府や水城を整備し、九州北部の警備を強化しました。この任務についたのが防人で、主に東国（現在の関東地方など）から農民が徴兵されました。家族と離れて遠い九州へ赴く負担は非常に重く、彼らの心情を詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として残されています。